

- 大妻 コタカ 先生の言葉から - 「 真の学問 」 昭和3年7月「白ゆり」から抜粋

要するに、私共はいつも世の常道をのみ歩行することを許されない場合がおおいのですから、いろいろと場合に応じて適当な処置を取り得る準備を常に備え、どんな事柄に突き当たっても、悠久自適善処することのできるだけの実力を備えなければならぬ、応用自在の力を要します。

From the Principal - 新年度新学期を迎えて／学芸を修めて人類のために - 校長 野崎 裕二



こんにちは。校長の野崎です。皆さん、改めまして、ご入学そして進級おめでとうございます。ようやく学校の校舎で、学習ができましたね。歴史的な世界的な災害の最中ではありますが、皆さんにとって大切な式典や行事がオンラインになりました中止になりました、そして、5月末までの長期にわたる自宅学習になってしまったことなどは、非常に残念なことでしたが、6月1日の学校再開以降、久しぶりに皆さん元気に登校する姿を見て我々教職員一同、大変うれしく思っています。皆さんも、4月からの新しいクラスで、友達と共に、様々な活動をすることを楽しみにしていたと思いますが、なかなか登校できず、これまでの長い自粛期間、不安を抱えていた人も少なくはなかったでしょう。そんな中でも、各学年主任からのメッセージや担任、学年、各教科の先生からのメッセージや課題は、皆さんの実際に登校できるまでの励みになっていたと思います。

ご存じの通り、今回の新型コロナ・ウィルスの感染は、まだ完全には収まっています。本校では、皆さんの安全のためにも、これからもしばらくはオンライン学習と学校での学習を並行して実施していきます。本校では、もともと反転学習やオンライン学習は導入されていましたが、この感染症対策の自粛期間で行われてきたオンライン学習や、学校再開以降の学校での授業とオンライン学習のブレンデッド学習という学び方は、これから社会では非常に役に立つものだと考えています。どんな形の学び方であっても、自分の目標に合わせて、合理的に、積極的に取り組んでいただきたいと思います。

さて、特に今年は、昨年までとは異なり、日を追うごとに環境が変化していきます。今後も、思うようにならないことや予想しなかったことがたくさん現れてくるでしょう。しかし、皆さんは、これまで、それぞれの様々な環境でたくさんのチャレンジをしてきました。たとえば、小学生のころ中学受験を頑張ったとか、電車でお年寄りに席を譲ったとか、恥ずかしかったけど手を挙げて意見を言ってみたとか、留学に挑戦してみたとか、自分の得意な分野で作品を完成させたとかなど、自分から一步踏み出して、小さなチャレンジから大きなチャレンジまでしてきました。すべて最初の一歩は初めてだったはずです。

自分のしてきたチャレンジを振り返ってみてください。その結果として、小さな成果や大きな成果が皆さんの中に蓄積されました。(失敗も大切な成果です。)皆さんのチャレンジの体験や身についた能力が少しずつ積み上がって、将来に向かって生きる力となっていることを改めて理解し、自分を見つめてみましょう。

皆さんは、少しずつ大人に向かって成長していますが、数年後皆さんは、法律上成人となります。社会的にも責任を自ら取らなくてはならなくなる年齢になります。これまでお話ししてきましたが、過去には戻れません。本校での数年間は、皆さんの将来に必ず繋がっていきます。

今回のコロナ危機以降、経済や生活文化はさらに新しい方向に向かって加速するでしょう。変化の大きなこれから数年間について、どのように行動すべきかを考えてみましょう。年々変化する社会ではあっても、いつの時代でも、自分の幸福は、ほかの人の幸福に依存しています。自分だけが幸福になることはできません。ほかの人の感染を防ぐには、自らが感染しないようにする必要があるように、他国が感染していないことも、自国の利益になる。他の人の利益は、ひいては自分の利益となるという考え方です。SDGsの考え方もそうであるように、隣や地域のために行った行動は、必ず自分に還元されます。皆さんには、まだまだ知らない世界がたくさんありますが、持続可能な社会のためには、「Arts For Humankind」、学芸を修めて人類のために、という価値観がこれまで以上に大切な考え方になるでしょう。

新しい学年を迎えたことを弾みにして、まずはこの1年、自分の将来なりたい姿を思い浮かべながら、より充実したものになるよう、一歩前に踏み出して、前向きな経験を積み重ねて、鍛えた自分の能力を生かし、新しい価値を生み出せるように、日々を丁寧に過ごしてください。

<保護者の皆様へ>

本校では、生徒の安全を一番に考え、国や都、そして本校のガイドラインに基づいた、新型ウィルス感染防止対応を実施しております。このため、長期にわたって、自宅でのオンライン学習をお願いしてきました。学校再開以降にもできる限りの安全への配慮、対応のもと、オンライン学習との併用学習を行ってまいりますので、今後も保護者の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

Messages from Our Supporters from the World – ボーク重子さんからのメッセージ

この歴史的な危機の中で本校を支援してくださっている方々から頂いたメッセージをこれまで紹介してきました。今回は、アメリカ・ワシントンDC、ボーク重子さんから頂いた特別メッセージをここに紹介します。



ボーク重子 氏（アメリカ・ワシントンDC在住の起業家、著述家、ライフプランナー、非認知スキルをキーワードに多くの著作があります。本校では、これまで3回、特別授業、講演をいただき、大妻中野のサポーターとしてすっかりおなじみになりました。）

大妻中野の皆さん！ 歴史に残る2020年、皆さんはこれから時代を作っていく選ばれた人とも言えます。ありとあらゆる従来の「当たり前」が崩れつつある今、皆さんは「これからどう生きて行くか」と言う答えのない問題を突きつけられているからです。これは素晴らしいチャンス！ だって「自分にとっての正解」を見つける好機でもあるからです。そして見つける方法はただ一つ。行動ありきです。「やってみたい」と思ったことに挑戦し、たくさんの失敗と失望、成功と希望を経験しながら「自分らしい人生」を見つけて行く。

だけど行動するって言うは易し行うは難しです。なぜなら私たちの心には行動を阻むいじめっ子たちが住んでいるから。何かをやりたいと思った時に「でも私には無理」「人と違ったらどうしよう」と自分を押さえつけるいじめっ子、「あの人の方が上手だからやっても意味ない」と他者と自分を比較するいじめっ子、「私はこうあるべき」と言う思い込み、「私はダメ」と言う過小評価。こんな心のいじめっ子達はあらゆるところで顔を出し、行動を阻止し、自分らしい最高の人生を生きる可能性に蓋をします。

私はそんないじめっ子達に30代初めまで好き放題させていました。失敗するのと違ってしまうのも怖かったし、「こうあるべき」のレールから外れることが不安で、自分の能力も可能性も夢も信じることができませんでした。ですが「自分の人生を生きる」と覚悟を決めて行動してきて20年経った今、言えることが一つあります。それは失敗も失望もそれほど悪くないと言ふことです。

確かにその時は目の前が真っ暗になります。例えば私がまだ駆け出しのアートディーラーだった頃、初仕事で大失敗をしました。間違えてクライアントの好み（金色をバックに輝く花瓶に入った赤い花の絵）とは全く違った作品（金色の壺の絵）を購入してしまったのです。インターネットが普及して間もない頃でまだまだ多くのことは電話など口頭で行われていました。花瓶に入った赤い花の絵が欲しいと言うクライアントの言葉が、私の中では「花瓶=壺」としてイメージされ、そこに「金色・輝く」が加わってとんでもないことになってしまったのです。（これには後日談があるのですが、それはまた別の機会に。）その時は本当に自分に失望しました。「まだ一銭も稼いでいないうちから失敗だなんて」。ですがそこで確実に学んだことがあります。そして今では笑い話です。その後も失敗は数知れず。だけどその度に私は大切なことを学んできました。その繰り返しが今の私を作っています。

失敗を恐れる人生は行動のない人生。行動のないところには学びも成長も喜びも発見もない。自分らしい最高の人生を生きる秘訣は行動にあります。従来の「こうあるべき」が崩れつつある今を好機ととらえ、自由な心で「自分は人生をどう生きるか？」と自問し自分らしい人生を行動することで見つけて欲しい。必要なのは恐れず、自分を愛し、自分の信じた道を行く覚悟です。

人生の幸せと成功とは誰かに認められることではなく、自分で自分の生き方に「最高だったね」と○をあげられること。失望も困難もあるでしょう。でもその表側にはいつだって希望と困難を乗り越えた自分がいます。大切なことを学び成長した自分がいます。そんな自分と一緒に歩く○の人生は想像ただけでワクワクできませんか？そして、そんな人生が皆さんの中に広がっています。行動するのが怖くなった時はこの言葉を思い出してください。

Don't be afraid! Be yourself! Go get it!

ボーク重子

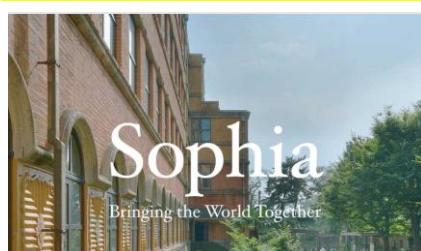
* ポーク重子氏：イギリスで現代アート史の修士号を取得後、ワシントンDCに移住。出産、専業主婦を経て2004年にアジア現代アート専門ギャラリーを同地で立ち上げ、2006年には同地のアート界に多様性をもたらしたことを評価され、オバマ大統領（当時上院議員）らと一緒に「ワシントンの美しい25人」に選ばれました。その後、20年近く続けたアートビジネスからライフコーチに転業。2017年「全米最優秀女子高生」大学奨学金コンクールで娘が優勝し、その教育法が多くのメディアに取り上げられ、作家としても活躍中。講演会やワークショップを日米で展開、メディアにも多数、出演。



Messages from Graduated Students 本校卒業生の大学レポート - 大学のオンライン授業

本校には卒業生によるチュータリング制度があります。国内外で活躍している卒業生に「グローバル・チューター」として在校生の様々な活動のサポートをしてもらう仕組みです。IELTSやTOEFL、SATなどの検定はもちろん、application essayの書き方などもアドバイスしてくれています。そんな卒業生も今年はなかなか活躍の場がありません。そこで、何人かのグローバル・チューターの皆さん、それぞれの大学でのオンライン授業を紹介したいとレポートとメッセージを寄せてくださいました。それをここで紹介します。大学のオンライン授業はどのようなものか、大学の特色などもよくわかるレポートです。どうぞ！

「上智大学のオンライン授業」- 上智大学外国語学部英語学科2年 岡田 彩也夏



大妻中野の皆さん、こんにちは。グローバル・チューター2年目、上智大学外国語学部英語学科2年の岡田彩也夏です。新型コロナによる3ヶ月にわたる休校から少しずつ学校が再開したことを伺いました。皆さんそれぞれ、友達に直接、会えた喜びを実感しているところだと思います。私も卒業生としてうれしく思います。

さて、私の在籍している上智大学もオンラインでの授業、学生生活になっています。そこで、私の大学・学部のオンライン授業について紹介します。上智のオンライン授業の様子をわかってもらえば、皆さんが進路を考えたり、大学を選んだりするときの参考にもなると思います。

上智大学のオンライン授業は、主にZoomを使用したリアルタイム型の授業と、あらかじめ教授が録画した動画を視聴するオンライン型の授業の2つの形式があります。それぞれ教授によって形式は異なりますが、いずれの場合もしっかりと興味のある分野について知識を深めていくことができます。また、オンラインの授業をサポートするために、MoodleやLoyolaといわれるポータルサイトが用いられており、様々な媒体を通してアクティブラーニングを行えています。ここで、私が実際に選択している授業が実際にオンラインではどのように行われているか、2つほど例を紹介します。

まず1つ目に必修授業である“English Skills”について紹介します。この授業は週に2回、Zoomを使っておこなわれています。流れは、教授がパワーポイントをシェアして授業を進めてくださった後に、Break Out Roomを使って2,3人の小グループに分かれてディスカッションを行っています。Zoomの授業で一番好きな点はリアルタイムでクラスメイトの意見が聞けることです。実際に教室で会うことはできませんが、ディスカッションなどを通していつも周りから刺激を受けています。

2つ目に研究コースのコア科目である「日本語教育入門」の授業について紹介します。こちらの授業は週に1回、オンライン形式で行われています。教授が用意してくださった音声付きのパワーポイントを視聴した後、600~800字程度のリアクショ

ンペーパーを書くという流れです。オンデマンド形式の良い点は、見る時間を見れば、また複雑な場所があれば途中で止めながら、自分のペースで学習できることです。質問があればリアクションペーパーに書くこともできるので、教授とのコンタクトもしっかりととっていくことができます。

オンライン授業は初の試みなので、教授も学生も探り探りではあります、少しずつ慣れていくことができています。大妻中野の皆さんも、新形式の学校形態に戸惑いを感じたり、不安に思ったりすることもあるかもしれません。ですが、それが学校生活の一部であることには変わりありません。今までの日常とは少し違うかもしれません、自分なりに現状を受け止め、少しでも新形式の良い点を見つけてみてください。皆さんの学校生活が、変わらず充実したものであることを願っています。

「私の大学のオンライン授業」 - 早稲田大学 政治経済学部1年 坪井 華乃



こんにちは。早稲田大学政治経済学部1年の坪井華乃です。皆さんに3ヶ月にわたる休校から少しずつ学校が再開したことを伺いました。皆さんに、校舎で友達に会って喜びを実感しているところを思い、私もうれしくなっています。

私の在籍している早稲田大学でも、オンライン授業が行われています。この場をお借りして、私の大学・学部のオンライン授業について紹介します。少しでも皆さんに早稲田のオンライン授業の様子をわかってもらえば、皆さんが進路を考えたり、大学を選んだりするときの参考にもなると思います。

早稲田は、基本的にはWaseda MoodleというLMS(Learning Management System)を利用しています。Waseda Moodleには各授業のページがあり、課題提出、レジュメ・資料のダウンロード、質問、オンデマンド講義の視聴など様々なことができるようになっています。授業に応じてZoomを使用することもあります。1限は9:00から始まり、授業は1時間半あります。長いように感じるかもしれません、面白いお話を聞いたり、グループワークをしたり、一生懸命文献を読んだりするので意外と短いです。私はオンライン授業で不便を感じたことはありません。チャット機能を通して教授に気軽に質問したり、人の目を気にせずに勉強ができるので快適だなと感じています。もちろん、大学に実際に通うことがベストですが！）

次に、授業について細かく紹介します。私はまだ1年生なので必修の授業が大半を占めていますが、春学期の授業は以下のようになっています。

- | | |
|---------------------------|---|
| ・General Tutorial English | ・Academic Writing and Discussion in English |
| ・ドイツ語 | ・ミクロ経済学入門 |
| ・統計学I、II | ・公共哲学 |
| ・基礎演習 | ・学術的文章の作成 |

General Tutorial EnglishとAcademic Writing and Discussion in Englishは、ネイティブの先生のもと少人数で授業がおこなわれています。入学前の英語のテストの結果でクラス分けがされていて、私はAdvanced Plusという1番上のレベルにいます。英語のレベルが高い人ばかりですが、毎回楽しく学んでいます。授業内ではSpeakingとWritingをメインに、毎回の授業後的小テストでReadingを学ぶという形です。

早稲田では、フランス語、スペイン語、中国語、ドイツ語、朝鮮語、ロシア語などから第二外国語が選べます。私は前から興味のあったドイツ語を選択しました。ドイツ語の授業はZoomでおこなわれています。最初に出欠をとり、教科書や問題集に従って授業が進みます。授業後には課題があり、その課題が復習も兼ねています。それぞれの授業で出欠、課題、テストの比重が大幅に異なるのが大学の特徴でしょうか。どれも大切ですが、良い成績をとるためににはしっかりと把握することがポイントかなと思います。

政治経済学部の一般入試で数学が必須になることですが、私が在籍する政治学科内でも数学的な思考が必要な授業が必修になっています。例えばミクロ・マクロ経済学入門、統計学ではそこまで難しい数学を使うわけではありません。ですが、この先に待っている経済学系の授業のためにも私自身微積分を勉強しています。中学の頃は苦手な科目でしたが、数学って便利なんだなと今になって思えるようになりました。（ぜひ大妻中野のみなさんには頑張ってみることをおすすめします。）

公共哲学は、公共性の定義/再定義からはじまり、偉大な哲学者たちの主張や歴史的背景、それがどのように現在に通じている

のか学んでいます。講義の動画とは別に、学生からの質問・意見に対する応答の動画も視聴できます。自分の質問もそれが有意義なものである限り答えていただけます。講義の動画を何度も見て、十分な時間を使い考え、質問することができるので、ここにオンライン授業のメリットがあると思います。

基礎演習と学術的文章の作成ではレポートや論文の書き方を学びます。知的好奇心が満たされる授業、というよりは、知らなければならぬまことに必須の授業のような気がします。これからたくさんの論文を書くのに必要な知識を得ています。以上を授業の紹介とさせていただきます。ざっくりとした説明になってしましましたが、1年生は基礎や入門ばかりなので、まだまだこれから、という感じです。私は2年生で留学に行こうと思っています。早稲田にたくさんの留学の種類、提携大学があることが、私の志望理由の一つでした。同じように思っている方もいらっしゃるのではないかでしょうか。実際に先輩から話を聞くと、政台経済学部は特に留学をする人が多いらしいです。私自身、長く北米にいたので次はアジアがいいなあ、と思っていますがどこにするか正直決めきれません。どこに留学するにせよ有意義なものにしたいですね。将来的に勉強したいこととして、現時点では公共政策、国際関係に興味がありますが、あまりバイアスに囚われすぎずに色々勉強していく中で決めていけばいいと思っています。

最後になりましたが、大妻中野のみなさんにメッセージです。新型コロナ・ウイルスで世の中が一変し、当たり前にできていたことができなくなりました。学校生活もそのうちの一つだと思います。高校生になった時に中学があつという間だったと感じるように、高校での時間もあつという間に過ぎてしまいます。(きっと大学生活もあつという間だと思います!)勉強に励んでほしい、というのは先生方の願いだと思いますが、せっかくの中学/高校時代ですから好きなことをしましょう。でも、好きなことをするにしても、今後何か新しいことやチャレンジしたいことができた時にすぐ行動に移せる能力を身につけることは大事だと思いませんか?私も常に準備ができているように努力します。いつかみなさんに直接会えることを楽しみにしています。

「私のオンライン授業 – SIRS の場合」 - 早稲田大学 国際教養学部 SIRS 1年 宮澤 和子



大妻中野の皆さん、こんにちは! 早稲田大学国際教養学部1年の宮澤和子です。大妻中野も3ヶ月に渡る休校から少しづつ学校が再会したことを伺いました。友達に直接会い、学校で授業を受けられる喜び! 私も卒業生として、嬉しく思います。

私の在籍している早稲田大学では、今学期は全てオンライン授業となっているため、直接、クラスメイトと会うことができる日は9月以降となっていました。非常に残念ですが、オンラインだからこそ、教授との距離が近く、グループディスカッションがしやすいと実感しています。今回は、私の大学、学部のオンライン授業について紹介したいと思います。少しでも皆さんに早稲田大学のオンライン授業の様子を分かっていただき、将来の進路の参考にしていただけたら幸いです。

早稲田大学には様々な学部学科があるため、本当に沢山の学びの場が提供されています。こちらが圧倒されるくらい沢山の授業の中から学部関係なく、好きな授業を選択できます。なので、将来の夢が決まっていない方でも、多種多様な授業を受けるにつれて少しづつ自分の目標が決まっていくのではないかと思います。

特に国際教養学部の授業には留学生や帰国子女の方が、沢山いるので、ディスカッションをしているだけで、本当にdiversityを感じることができます。また、国際教養学部は授業だけでなく、教科書やレポート、メールも全て英語です。もちろん、時々、大変だと感じることもありますが、その分、英語力は絶対に伸びると確信しています。私が、今学期選択した授業のどれもが、本当に刺激的で面白いのですが、今回はその中でも最も特徴的な2つを紹介したいと思います!

まず、一つ目はIntroduction to Journalismという授業です。これは、ジャーナリズムのあり方やジャーナリズムがどのように私達の生活に影響を与えるのかを英語で学ぶ授業で、ディスカッションがとても多いです。この授業の教授は長年に渡って色々な国に取材に訪れ、世界中の新聞や雑誌に記事を書いてきたとても有名な方です。つい先日の授業では、実際に北朝鮮に取材に訪れた時の経験を話してくださいました。中には記事にすることことができなかった内容や、当時、ジャーナリストとして訪れた時の苦悩も含まれていて、改めてジャーナリズムの役割やメディアとの付き合い方について考えさせられました。また、前回の授業ではアメリカの今起こっているデモについて話し合いました。帰国子女や留学生がとても多いので、様々な視点から話し合うことができました。印象に残っているのは、アメリカで生まれ育った日本人の生徒の「なぜ All lives matterで

はなく、わざわざ Black lives matter と言っているのか。」という発言です。人種に関係なく、同じ人間として不當に扱われたことは確かにおかしいけれど、黒人ということに焦点を当てすぎてしまうと本当の意味で平等な世の中は作れないのではないかと言っていました。これは実際にアメリカに住んでいるからこそ意見だと思うので、とても勉強になりました。

2つ目は Ethnicity and Social Religion in China という授業です。こちらの授業は、毎回、授業の初めに 2~3 人の 2 グループが中国の民族を一つ取り上げ、プレゼンをし、残った時間で質疑応答や問題点について話し合います。先生はチベット出身の方なので、中国に住んでいる少数民族が実際にどのように暮らしているのか、どのようなことが問題になっているのかなど、生の声を聞くことができ、非常に貴重な経験だと感じています。また、この授業を選択している生徒は中国や台湾からの留学生が約 7 割で中国に長年住んでいた日本人は 2 割ほどなので、日本にいながら留学しているような感覚になります。

最後に大妻中野の皆さんに私から一言メッセージを送らせていただきます。新型コロナ・ウィルスにより、思うように新学期を迎えることができず、不安な方が多いと思います。でも、この機会を自分が成長することができるチャンスと捉え、時間を使い、色々な人の意見を聞くことが大切です。大妻中野には力を貸してくれる先生が沢山います。なので、不安なことは自分だけで抱え込みず、沢山相談しましょう！そして、私自身も皆様のお役に立てればと思っているので、ご質問等がありましたら、水澤先生を通してご連絡下さい！ 皆さんの質問や相談を待っています！

Student Achievement – Congratulations! –

受賞日	部・教科・有志	大会名	順位/賞	学年	受賞者
R2.5.15. 留学生		EF Challenge 2020	Speech Nominate	高2	カナダ1年留学中 齊藤 莉子

School Schedule - 2020 年 6/7 月の予定 – 今後、変わることもあります。各学年で確認ください！

6月			7月		
8	月	中2ガイダンス	1	水	
9	火	中3/高3_ガイダンス	2	木	
10	水	中1/高1_ガイダンス	3	金	
11	木	中2_ガイダンス	4	土	
12	金	中3/高2_ガイダンス	5	日	
13	土	中3・高校保護者進路ガイダンス(WEB)	6	月	
14	日		7	火	
15	月	学校授業開始(短縮授業、分散登校)	8	水	転編入試験
16	火		9	木	
17	水		10	金	
18	木		11	土	
19	金		12	日	第1回TEAP(一般会場)DELF(一般会場)
20	土	高1_性教育講演会(WEB)	13	月	教職員健康診断
21	日		14	火	
22	月		15	水	
23	火		16	木	
24	水	職員会議(オンライン)	17	金	
25	木		18	土	
26	金		19	日	第2回帰国生説明会(AM)
27	土	高校_実力テスト回収最終日	20	月	考查未済者等追試・自宅学習日
28	日	英検(一般会場実施)	21	火	考查未済者等追試・自宅学習日
29	月		22	水	答案返却(高3・中3)
30	火		23	木	☆海の日